

SARU MONOGATARI

サル物語

奇跡のコザル「ミラクル」ちゃん



2018年7月1日にB群「マツバ」は、元気なメスの赤ちゃんザルを出産しました。赤ちゃんザルはスクスクと成長し、同級生と「おさるの保育園」で元気に遊ぶようになりました。

その年の11月2日、「マツバ」の子が、両足を全く動かすことをせず、両手だけで地面をはって動いていました。「マツバ」のお腹にしがみつくのも両手だけで、足はぐったりとしていました。外傷的なものはみられず、原因は分かりません。足以外はとても元気で、普通に友達と遊んだりできています。ただ心配だったのが、移動の時、常に両足が地面で擦れていることで、足の甲に傷が出来ていたことです。日に日に傷は大きくなっていて、このままでは両足がダメになってしまうのではないかと心配していました。しかし、この子は本当に元気で、保育園のジャングルジムも手だけで登ったり、綱渡りも手の力だけで頑張っていました。

動かなくなってから1カ月ほど経過した12月15日の事、全く動かなかった足の膝の部分が少し動いたように見えました。しばらく観察していましたが、間違いありません。足が少し動いています。それからというもの、日に日に足の可動域が広がり、最終的には足の指の関節もしっかり動くようになりました。同級生と遊ぶことがリハビリになったのでしょうか、今では当時の状況が想像できないくらいに完全に回復しています。それにしても奇跡的な出来事に私たちも驚くばかりです。

そんな奇跡を起こしたコザルに「ミラクル」ちゃんと名付けました。

園内のフェンスをよじ登るミラクルちゃん(左)



ご意見・ご要望をおまちしています。



国立公園 高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1
TEL 097-532-5010 FAX 097-536-2500

E-mail / info@takasakiyama.jp
http://www.takasakiyama.jp/

MT Takasakiyama Member's Club

[高崎山メンバーズクラブ] 会報



国立公園

高崎山
自然動物園

2019.夏号

No.95



写真募集中!!

皆さんの撮影したステキなお写真で会報誌の表紙を飾ってみませんか。なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。

スタッフブログ、フェイスブック、Instagram、Youtubeで高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。

★大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。学生証などを見せて入園してください。

B群オスザルの順位変動

B群のオスザルたちに変化がありました。これまでB群の第7位だった「ムサシ」、第9位だった「トスカ」がサル寄せ場に姿を見せなくなりました。

これにともなって、B群のオスザルたちの7位以下の順位が下表のように変動しました。

 <p>第1位 ナンチュウ</p>	 <p>第2位 マクレーン</p>	 <p>第3位 ゴエモン</p>	 <p>第4位 ラルフ</p>
 <p>第5位 ハジメ</p>	 <p>第6位 ドローン</p>	 <p>第7位 (前第8位) ルフィ</p>	 <p>第8位 (前第10位) ゴロー</p>
 <p>第9位 (前第11位) ヤマト</p>	 <p>第10位 (前第12位) ホシカゲ</p>	 <p>離脱 (前第7位) ムサシ</p>	 <p>離脱 (前第9位) トスカ</p>

「ムサシ」と「トスカ」は、昨年(2018年)12月頃までサル寄せ場で確認されていましたが、冬になり高崎山のサルたちの発情期を迎えるとともに、サル寄せ場では姿を見なくなりました。オスザルたちは発情期に高崎山の周縁部にいるメスザルに恋をすることも多く、発情期が終わりを迎えると群れに戻ってくる可能性もあるため、「恋が終わったらまたB群に戻ってきてくれるのでは」と経過観察していましたが、発情期が終わりを告げる4月になってもサル寄せ場で、彼らの姿を見ることがありませんでした。

令和元年5月1日、彼らはB群を離脱したと判断し、順位を入れ替えました。

イケメン総選挙で1位になったことのある「ムサシ」や、コザルにとっても優しく「トスカ」がいなくなると寂しいものですが、またいつの日か、サル寄せ場に姿を見せてくれることを願っています。



人気のないB群3位「ゴエモン」

令和元年6月4日、地元のテレビ局で取り上げられたB群第3位の「ゴエモン」。すごく怒りっぽくて誰彼構わず威嚇をするので、サルからもヒトからも人気がないという、少し残念なオスザルです。前回の「イケメン総選挙」でも惨敗していたのは記憶に新しいですね。

そんな彼ですが、ちょっと神経質なだけなんじゃないかと思いません。突然怒りだす、B群第1位の「ナンチュウ」や、C群第1位の「ブ

ラック」に比べれば、御しやすいというか、単純です。よく芸能人にある「怒りキャラ」みたいなものです。本人は全然気にしていない様子ですし。

コザルを守るという意識は高く、なかなか良いサルなんですけど、誤解されやすいんです。唯一彼と仲のいいメスの「フジコ」ちゃんというサルがいて、よく毛づくろいをしてもらっているのですが、「ゴエモン」同様に怒りっぽくて似たもの同志です。

いつも、サル寄せ場内で「ポツン…」と一頭でいることが多い「ゴエモン」ですが、孤高のサルというよりも、どこかひょうきんなイメージがあります。やたら、コザルを追い回している時には少し落ち着いてといたくなりますが。そんな彼を暖かく見守ってあげてください。

高崎山のイケメン「ゴロー」

みなさんは、「ゴロー」と聞いて何を思い浮かべますか？ 私が思い浮かべるのは、「イケメンでイクメンな、今後様々な活躍が期待されるオスザル」です。

2018TNZトリプル選抜選挙「イケメンザル部門」で初選抜・初優勝となり、名前とその美しい容姿が皆様に広く知れ渡った「ゴロー」。その後も、取材や高崎山スタッフブログ、instagramなど様々な分野で活躍しています。また、サルの世界でも令和元年5月1日よりB群8位へ昇格しましたが、相変わらずコザルの面倒をしっかりと見る「イクメン」ぶりを発揮しています。最近はイクメン度が増したのか、おさるの保育園のブランコにコザルと一緒に乗って遊んでいる姿が、度々目撃されています。しかも、ブランコを揺らすのが上手い！

「カッコイイ」と「カワイイ」を備えもつ「ゴロー」は、人気No.1の看板ザルです。

そんな「ゴロー」ですが、もちろん群れに何かあればしっかりと守る姿勢も見とれます。ですが、最近少し困っているのが、やる気が有り余っていることです。普段は、比較のおとなしいのですが、メスザルやコザルの悲鳴を聞くと、すぐに駆け付けてきます。その際「ゴロー」は、お客様やスタッフ等

その場にいる人間に対し「仲間は何をした!？」と怒ってくるのです。何もしていないのにサルから怒られる。理不尽ですが、この行動はサル社会では優秀です。それだけ、群れを守る意識が強いという事。

ただ、もう少し周りを見て関係のないところに怒らないでいただきたいですね。皆さんも、サル寄せ場で走り回ったり、サルをからかったりしないようにお願いします。コザルの悲鳴を聞きつけて、「ゴロー」が怒って来るかもしれませんよ…。

